

新任あいさつ



地区連合会
町会連合会
会長 内田 伊藤 紘一



平成 28 年 5 月 1 日現在

世帯数	964 戸
人口	2,430 人
男	1,216 人
女	1,214 人

平成二十八年度の内田地区町会連合会会長に指名されました。皆様のご協力をいただきながら任務を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

少子高齢化・人口減少の流れの中で、町会や町会連合会の活動をどのように続けていくのか難しい時代に入っております。インターネットなどで情報を得たり、スマートフォンを通してのつながりで、リアルな人間関係が少なくても不足を感じない人が増えているように感じられます。そして近年の犯罪の中には、人間関係の少なさが関係するようないくつかの事件が多くなっています。その一方で、高齢者の見守り、児童の安全確保や災害時の対応など町会に

期待する役割は大きくなっているように思います。特に近年の独居老人、老老介護など世帯の型の変化が急速に進んでおり、深刻な問題が発生しているように思います。地区にも少し情報があつたならば、そして隣近所がもう少し機能するような関係にあつたならばと思うことが多々あります。

各地で大災害が発生しております。地震や気候変動による災害は、私達の積み重ねてきたものを無にしてしまう恐ろしさがあります。内田地区もいつ災害に見舞われるかわかりません。平時における地域の人の関わりが、災害が起こってしまった時にきつと良い結果を生むに違いありません。国や行政がすぐには対応が難しい時に、大切なのは隣近所や町会の活動だと思います。町会組織は基本的には助けあい組織だと思います。より良い活動を広げるにはどのようなしたらよいのか考

消防団の力を

地元消防団 21 分団の分団長に就きました吉江と申します。

春は消防団にとって準備の季節です。新任団員や幹部団員が一堂に会し訓練が行われます。ここで、消防団員としての基本的な知識・技能を習得、活動に備えています。

消防団最大行事の一つ、消防ポンプ操法大会に向けた訓練が連日行われているのもこの時期です。今年も県内で全国大会が行われることもあり、熱の入った訓練がそこかしこで行われております。

我々 21 分団は、今年度の出場はありませんが、昨年度ポンプ車の部において 3 位に入賞することができました。それぞれ職業を持つ者ができる範囲で集まり、自分の得意なことを持ち寄り、総力を結集して得た最良の結果だと思っております。

21 分団は本年度 34 名での出発となりました。数年前より人員も減少しております。市内でも小さい分団ですが、その分、団結力と地域を守りたい気持ちのえながら、暮らしやすい地域になるよう、一歩一歩進んでいきたいと思っております。

強い分団でもありません。災害があつた際に頼れる仲間がここにはいます。も大丈夫です。是非、我々の仲間になつてくたさい。

職場では味わえない関係、異業種交流ができるのも消防団の魅力です。活動中は、夜間、長時間になることもありますが、この仲間とは最後には笑い合えると思っております。

消防団では、一緒に活動してくださる団員を募集しております。18 歳以上の方ならどなたでも、性別は問いません。学生でも



21 分団長 吉江 昌秀

ゴミ出しの……マナーについて

町会役員の顔合わせ会の中で、衛生部長よりゴミステーションでの不法行為(?)について話がありました。

今年三月中旬、可燃物の日に軽トラック一台分くらいの不燃ゴミが捨てられており、かなりの量であることから町会長とも相談のうえ、松本市の環境業務課へ相談したそうです。

過去にも数回、分別や記名がされていない、他地区指定のゴミ袋等々問題事案があり、再分別を衛生部長で行った際、中に個人宛の郵便物が交ざっていたそうです。今回の廃棄物にも同名のものが入っており、環境業務課の方で調査をして、可能であれば指導することでした。

しかし調査の結果、該当人物は市外在住のため、他市町村在住の方へは聞き取り・指導ができません。同事案が続くようならば、不法投棄として警察と連携して対処していくことになりました。

今回のような身勝手なケースは稀ですが、生活の中でゴミはどうしても出てしまうものです。資源は限りあるものという考えのもと、多くの自治体、企業でリサイクル等取り組んでいます。ゴミを処理するためには多くの費用がかかりますので、個人レベルでもリサイクル・ゴミ減量の意識を持たねばなりません。

皆さんもゴミ箱に捨てる前に、その処分が正しいか確認してみたいかがでしょうか。九町会 百瀬 泰伸

クネノ内正八幡宮 獅子舞神楽

四月二十八日宵祭り、クネノ内正八幡宮の祭典に獅子舞神楽を奉納しました。

獅子舞神楽は、悪疫退散や五穀豊穡、地域の安全を祈願して奉納しています。神楽の発祥年代は不詳ですが、今から百三十五年前の明治十四年以前は、旧暦の八月十四日十五日に例大祭が行われていました。村内に疫病が流行したため翌年の四月十四日十五日に祭りを行うことになり、獅子舞神楽による悪魔祓いを拝殿で舞ったことに由来します。

その始め氏子衆は伊那地方や諏訪地方へ泊りがけて獅子舞神楽の研修に出向いたそうです。その後、途絶や復活を繰り返して平成十年に、以前の経験者が集まり伝承を願い神楽保存会を結成し奉納を継承しています。

当神社の獅子舞は二人立ちの牝獅子で、前役の獅子頭は朱塗色の着物に白足袋姿で緒草(御幣)を持ち幌大きく掲げ悪魔祓いをします。歌い手衆により神代の物語が唱えられる「あらし三尺の緒草を持ちて悪魔を祓う目出度いな泰平楽世と舞はじめまするな」で始まり、幌を



「明日はお立か御名残惜しやな」 「なんとこいた、冗談でなし」 「なんとなし、破れや缶の底抜けだ」 篠笛と桶胴太鼓、胴締太鼓による岡崎の演奏で終わります。

過去には氏子青年衆により祭典や長持ち担ぎ、獅子舞神楽が行われ、神明造りの神楽屋台を担ぎ村内を練り歩いたものです。松本市史に芳川地区に伝わる長持ち担ぎは、内田から伝えられたとあります。

平成七年県の調査で県内の獅子舞や神楽は五百五十か所あり、この中には復活や消滅の危機に接している地域もあります。当神社の獅子舞神楽保存会員は十三名の人達で高齢化気味ですが、できる限り伝承していきたいと思っています。

三町会 中山 順一

役員紹介

※数字は町会です。

町会長(○印は新任)

- 1 村上 忠夫(副会長)
- ② 中島 啓介(会計)
- 3 伊藤 紘一(連合会会長)
- ④ 横山 好彦
- 5 葛原 守久
- ⑥ 草間 久明
- 7 河辺 素康
- ⑧ 原 秀雄
- 9 内川 吾郎

子ども会育成会

- 1 一ノ瀬修一(会長)
- 9 西尾明日香(副会長)
- 3 小林 光子(会計)

明善小学校PTA内田支部

- 5 横山 尚子(第一支部長)
- 9 濱 麻奈美(第二支部長)

明善中学校PTA内田支部

- 3 平井ひとみ(支部長)
- 9 青木 聡子(支部長)

ササラ踊り保存会長

- 3 伊藤 紘一(連合会会長)

各種団体長

消防21分団長

- 4 吉江 昌秀

人事往来

明善小学校校長

- 新任 幾嶋 肇
- 退職 上條 高美

明善中学校校長

- 新任 塚田 道彦
- 転任 清水 誠一
- 村井・寿交番 所長
- 新任 水谷 直人
- 転任 藤原 茂

芳川消防署長

- 新任 水島 義則
- 転任 大友 孝志

馬場家住宅館長

- 新任 清澤 一正
- 退職 鳥羽 清次

新任あいさつ



内田地区 地域づくりセンター (窓口担当) 相野田久美子

四月より、内田地区地域づくりセンターにお世話になることになりました。相野田と申します。昨年は、寿出張所で公民館の業務に携わってまいりました。

内田地区からのアルプスと市内一展望の景色を見て、自然の美しさに感激いたしました。

これからは、内田地区の皆さまと共に活動をさせていただきます。ご迷惑をおかけすることもありますが、よろしくお願いたします。

つれづれ編集記

四月に発生した熊本地震により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災から早くも五年が経過しましたが、その間ここ長野県でも様々な自然災害が発生しています。

長野県北部地震・白馬村の地震・御嶽山噴火・南木曾町土石流・記録的大雪等々。自然災害の中では人間の無力さを痛感しますが、その反面被災者の救済に尽力されている姿や、多数の方がボランティアに参加している姿、炊き出しを順番に待つ被災者の姿を見るたびに、改めて日本人の素晴らしさを実感します。

自然災害について明日は我が身と思いつつも、いつの間にか他人事となりますが、今回は自然災害が他人事となる前に、家族で被災した際の話をしました。

これまでも幾多の被災を乗り越えてきた日本、熊本を中心とした一日も早い復興を願うとともに九州全体の復興を祈るばかりです。

頑張れ熊本！
頑張れ九州！
頑張れ日本！

八町会 野口 勝典